01型&式



Created by GT F Last updated about 2 hours ago

- Javaの基本型
- 変数
 - 。 変数の宣言と値の代入
 - 。 既に宣言された変数への値の代入
 - 。 定数
- 式(しき)
 - 。 代入
 - 算術演算子(えんざんし)
 - 。 関係演算子
 - 。 論理演算子
 - 。 条件論理演算子
- 質問集

Javaの基本型

型	日本語読み方	値の種類
byte	バイト	バイト型
short	ショット	整数型
int		整数型
long	ラング	整数型
float		浮動小数点数
double	ダブル	浮動小数点数(ふどうしょうすうてんすう)
char		省略 (現時点特に覚えなくてもいいです)
boolean	ブリアン	true また false

現時点値の範囲を覚える必要がありません。以下3型を覚えてください: byte, int, float, char, boolean。

- 1. インスタンス変数
- 2. クラス変数 (静的変数)
- 3. ローカル変数
- 4. パラメータ

Javaの仕様では、変数という言葉はローカル変数、インスタンス変数などを意味しますが、本章はローカル変数について説明します。なお、これ以後で**変数**と書かれていれば、全てローカル変数を意味します。

変数の宣言と値の代入

データ型の直後に変数名を続きます。変数名は**半角英字**か**下線**(_)から始まり、後に半角英数字に書かれてる文字列の組み合わせが続きます。

例1. 変数の宣言:

```
1 boolean result = true;

2 char capitalC = 'C';

3 byte b = 100;

4 short s = 10000;

5 int i; // 初期値を設定しない
```

例2. 変数名:

```
      1 int _a; // oK

      2 int $a; // oK,あまりよくない。商用コードに書かないで

      3 int 10a; // NG,頭文字は数字

      4 int Abc; // NG,ローカル変数の頭文字は小文字で(ただし、プログラミング上問題ない)

      5 int _a; // NG,ローカル変数は既に定義されています。(名称重複)
```

変数を宣言した後、初期値を設定可能です。その後の例1は2種類の変数宣言の形を示しています。 最初の4つの変数は初期値を設定する初期化を含んでいますが、最後の変数では初期化子は省略可能 であることを示しています。この場合、変数をすぐ使えない。(ローカル変数を初期化しないと利 用できませんが、インスタンス変数の場合、初期化子を省略する場合、ディフォルト値を自動的に 設定されています)。

既に宣言された変数への値の代入

初期値を持っているかどうかに関わらず、変数に新しい値を代入できることを示します。

例1. 変数の値を再設定

```
1 int a = 10; // a = 10
2 a = 100; // 現在 変数aの値は100
```

これらの変数は静的な型を持ってので、誤った型のデータを代入しようとしても、コンバイルエラーを発生します。

例2. 誤まった型の値を代入

```
1 int a = 10; // 変数aの型はint
2 a = 10.0F; // Float型の値を代入しよう
```

質問:

- 1. 変数の宣言方法 ⇒ 型 変数名;
- 2. 変数の代入 ⇒ 変数名 = 値;
- 3. 変数の命名規則
- 4. 変数は重複不可。
- 5. 変数の値を再代入型は宣言時の型は同じ。

定数

final static 修飾子による定数の定義する。定数は必ず代入演算子を使って明示的に初期化を行います。

式(しき)

代入

変数に値を割り当てるには代入文 = を使用します。変数を利用する為に宣言しておかなれなりません。

```
1 int a = (1 + 2) * 3;
```

= の左辺の変数 a に右辺の式 (1 + 2) * 3 の計算結果を値に代入されます。文の終わりにはセミコロン; で示します。

算術演算子(えんざんし)

演算子	説明	実例	int a = 10; int b = 20 の場合
+	加算	a + b	20
	減算	a - b	-10
*	乗算	a * b	200
1	除算	a/b	0 (精度)
%	剰余 (MOD)	a % b	10
++	前置インクリメン ト	++x	11
	後置インクリメン ト	x++	10

	前置デクリメント	X	-9
	後置デクリメント	x	10
4			

※グレーアウト箇所は後で理解してもおkです。

- 整数 + 整数 = 整数;
- 整数 + Float = float;
- 数値型(算術演算子) = 数値型

以下コードを実施して、算術演算子を理解してください。

```
1 int a = 10;
 2 int b = 20;
 3
 4 System.out.println(a + b); // 30
 5 System.out.println(a - b); // -10
 6 System.out.println(a * b); // 200
 7 System.out.println(a / b); // 0
 8 System.out.println(a % b); // 10
9
10 int x = 0;
11 System.out.println(++x); // 1
12 x = 0;
13 System.out.println(x++); // θ
14
15 int y = 0;
16 System.out.println(--y); // -1
17 y = 0;
18 System.out.println(++y); // 1
```

関係演算子

関係演算子はすべての数値型をサポートしており、結果をbooleanで返します(boolean x = 10 > 20)。

演算子	説明	int a = 10; int b = 20 の場合
==	等しい(ひとし い)	a == b → false
!=	等しくない	a != b → false
>	より大きい	$a > b \rightarrow false$
>=	以上	$a >= b \rightarrow false$
<	より小さい	$a < b \rightarrow true$

以下 a <= b → true

以下コードを実施して、関係演算子を理解してください。

```
int a = 10;
int b = 20;

boolean c = a > b;

System.out.println(a > b);

System.out.println(a == b);

System.out.println(a == b);

System.out.println(a != b);

System.out.println(a < b);

System.out.println(a < b);</pre>
```

論理演算子

<=

演算子	説明	例	
П	条件論理和	a b c	また
&&	条件論理積(せき)	a && b	かつ
!	論理否定	!a	

```
public static void main(String[] args) {
 2
        // 変数 代入 初期値
3
        int a = 10;
 4
       int b = 20;
 5
       if (a < b || b == a) {
           // true ? false ?
 6
 7
8
       if (a < b && b == a) {
9
           // true ? false ?
10
        }
       if (!(a > b)) {
11
           // ここに到着できますか
12
13
        }
14 }
```

条件論理演算子

演算子	説明	例
条件 ? trueならば : falseならば	? 記号の前の式を評価する、 true の場合、 : の式を返す、 false の場合、 : を返し	int max = x > y ? x : y

質問集

質問1:以下変数nの値は?

```
1 int i = 10;
2 int n = i\%5;
```

質問2: 右の式を解釈してください: a = a > 10? 11:0;

質問3:変数値を比較する演算子は = or ==?

質問4:ブリアン(boolean)変数に設定可能の値は「?」「?」。

Like Be the first to like this

No labels

